

特集

続々誕生！不動産関連資格

マンション管理員検定

創設時期：2011年
 受験対象：マンション管理員、マンション管理会社実務者、
 定年退職者、再就職希望者、関連資格受験者等
 認定要件：検定試験合格

合格者数：約2,200人
 試験：年2回（3・9月）
 URL：http://www.m-kanken.or.jp

日常管理の実務スキルをアップ マンション管理員検定

（一社）マンション管理員検定協会

居住者とのコミュニケーション力、 接遇・マナーなども重視

マンション管理の「最前線」を担っているのが、日々居住者と接している「マンション管理員」。そのマンション管理員の資質向上と地位向上を目指した資格が、「マンション管理員検定」だ。2011年9月に第1回検定試験が行なわれ、これまで4回の試験により、約2200人が試験に合格している。

マンション管理業界には、マンション管理士や管理業務主任者という2つの公的資格があるが、これらの資格が主としてマンション管理に係る法令に関する知識を要求しているのに対し、マンション管理員検定は受け付けや巡回といった管理員の日常業務、建物知

識、居住者や組合員とのコミュニケーション、接遇・マナーといった、実務スキルを求めているのが、大きな特長。さらに、AEDの操作法、マンションでの孤独死・認知症問題、第三者管理といった、マンション管理を巡る最新トレンドも随時出題に盛り込むなどして、マンション管理に関わる人たちの「登竜門」的資格としての位置付けを明確にしている。

管理会社への人材紹介など 有資格者のメリット強調

資格取得者は、現役のマンション管理員、マンション管理会社の社員などと、マンション管理の最前線で働く人たちと、マンション管理会社への就職やマンション管理員を目指す人たちが圧倒

的。そのため、団塊世代以降の50〜60歳代が7割超を占めている。

「資格創設から2年、大手マンション管理会社でも約3割で資格取得を推奨していただいています。スタッフの実務スキルを示す客観的指標として、また、スタッフのモチベーションと緊張感を維持するためにも有効なようです。最近では、マンション管理組合の理事の方々が「大規模修繕を前に知識を付けておこう」と受験してくださいという、ビル管理会社の方が「ビル管理も利用者に対する接遇・マナーが重要になる」と受験されるケースも目立っていますね」と、マンション管理員検定協会理事長・日下部理絵氏は話す。

現在、各地の資格学校やシルバー人材センター等へ、管理業界への就職に必須の資格としてアピール。また、今後はマンション管理会社等とタイアップした人材紹介セミナー、資格取得者を対象にしたフォローアップセミナーや管理員同士の交流会の開催など、資格取得者のメリットを強調することで、さらなる受験者増につなげていく方針だ。